

1 平成18年度中高連携英語力向上プロジェクト 研究推進構想 西濃地区

研究協力校： 養老町立東部中学校

岐阜県立大垣南高等学校

これまでの取組と生徒の実態

中学校

- ・コミュニケーションを図る活動に意欲的に取り組むことができ、特に、聞くこと、話すことの言語活動への興味・関心が高い。
- ・自分自身の考えや意見をまとまりのある英文で表現することは話すこと、書くことの両面でまだ弱い。
- ・話すことや聞くことの言語活動の後に書くことの活動を位置付けてきたが、まとまった英文を書く力が十分でない。

高等学校

- ・積極的な授業参加を促すため、予習を徹底する指導をした結果、意欲的に挙手発言する生徒が増えた。
- ・ALT との TT や、ペアワーク、グループワークを通して、会話を楽しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢が育成されつつある。
- ・journal を書く活動を通して、自分の考えを英語で表現する力の育成を図っているが、既習の表現を自由に使いこなせるまでには至っていない。

プロジェクトを通して付けたい力、大切にしていくこと、明らかにしたいこと
「単元で育てる」構想をもつ。
教科書題材をもとに、理解の能力と表現の能力の関連を図った指導をする。

平成18年度の具体的取組内容

中学校

研究テーマ

かかわり合い、相互理解を深めるコミュニケーション活動の在り方

- ・単元で育てたい力を明確にし、単元を通して繰り返し指導する場を設定する。
- ・積極的にコミュニケーションを図る態度を伸長するため、必然性のあるコミュニケーション活動を工夫する。
- ・できた喜びを生徒が実感できるよう指導過程、学習形態を工夫し、実態把握からの指導を充実する。

高等学校

研究テーマ

実践的コミュニケーション能力の育成を目指した指導の在り方

- ・聞くことの力の向上を図る効果的な言語活動の設定と指導方法を工夫する。
- ・各単元の特徴を生かしてコミュニケーションを図る活動を設定する。
- ・既習内容（語彙・表現・文法事項）を駆使して主体的に表現しようとする意欲や態度を育成する指導過程及び活動形態を工夫する。

